

NPO法人 熊本まちなみトラスト  
第42回理事会(200622)出欠表(実績)

氏名	理事会 200622 出欠	出席 人数	委任 出席 人数
1 青木勝士	○		
2 麻生田栄壽	× 事務局長		
3 伊藤重剛	○		
4 磯田桂史	× 事務局長		
5 磯田節子	×		
6 岡裕二	○		
7 工藤栄一郎	× 理事長		
8 幸田亮一	× 事務局長		
9 古賀輝	○		
10 西郷正浩	× 理事長		
11 柴田祐	×		
12 竹田宏司	○		
13 田中尚人	× 議長		
14 鄭 一止(いるじ)	○		
15 辻 泰明	○		
16 豊永信博	×		
17 長野聖二	× 議長		
18 西島真理子	○		
19 富士川一裕	○		
20 松波大仁	○		
21 三國隆昌	○		
22 宮野桂輔	○		
23 矢野和之	× 理事長		
24 山田穰	○		
1 荒木幸介			
2 齊藤修	×		
会員(コア会員)			
1 本田憲之助			
2 森 純子			
3 両角光男	×		
4 熊本商工会議所(坂井)	×		
5 上野美恵子			
6 上農淑子			
7 清水照親			
8 坂口秀二			
9 西島衛治			
10 西嶋公一			
11 藤本秀子			
12 宮本茂史			
13 吉野徹朗			
14 早川祐三			
15 松崎範子			
16 矢島由美子	×		
17 清永泰弘			
18 古賀元也			
19 濱田康成			
20 中田浩毅			
21 東久美子			
22 伊原登志郎			
23 石原靖也			
24 佐々木翔多			
25 反後人美			
26 池田由美			
27 黒瀬商店			
28 田中達俊			
29 原野利一	×		
30 高田真人			
31 平山武久			
32 平山偵久			
33 中島淑子			
34 村上亜紀			
35 後藤環			
36 坂井亮太			
37 石橋雅子			
38 熊本ビル部			
39 加瀬島正剛			
40 田上裕			

◆議決事項(本日の検討事項)

1. 財政部会の活動計画
2. 歴まち部会の活動計画
3. 遺産ネット部会の活動計画
4. 理事の情報共有「R-Group」の導入

本日の会議の進め方

- 1 事務局から近況報告
- 2 部会報告
- 3 「R-Group」の導入の検討と承認

◆前回(5/25)例会以降の経過

※前回(5月)は表決による総会の後、理事のみによる例会とした

KMT事務局会議【富士川・松波・菊池】  
5/27、6/3、6/10、6/17の4回

財政部会【○豊永、伊藤、田中、青木、□松波】  
6/1(第3回) ○: 部会長 / □: 事務局

歴まち部会【○伊藤、鄭・竹田宏司・西島真理子・古賀輝・豊永信  
熊本市都市整備景観課・都市デザイン室: 酒井室長、  
木下主査、石川主任技師、本田技師  
/ 都市整備景観課: 村上技術主幹  
6/8(新体制では第1回)・・・松波・富士川も参加

遺産ネット部会【○磯田節子・宮野・三國・辻・青木・山田】  
6/11(第1回)・・・松波・富士川も参加

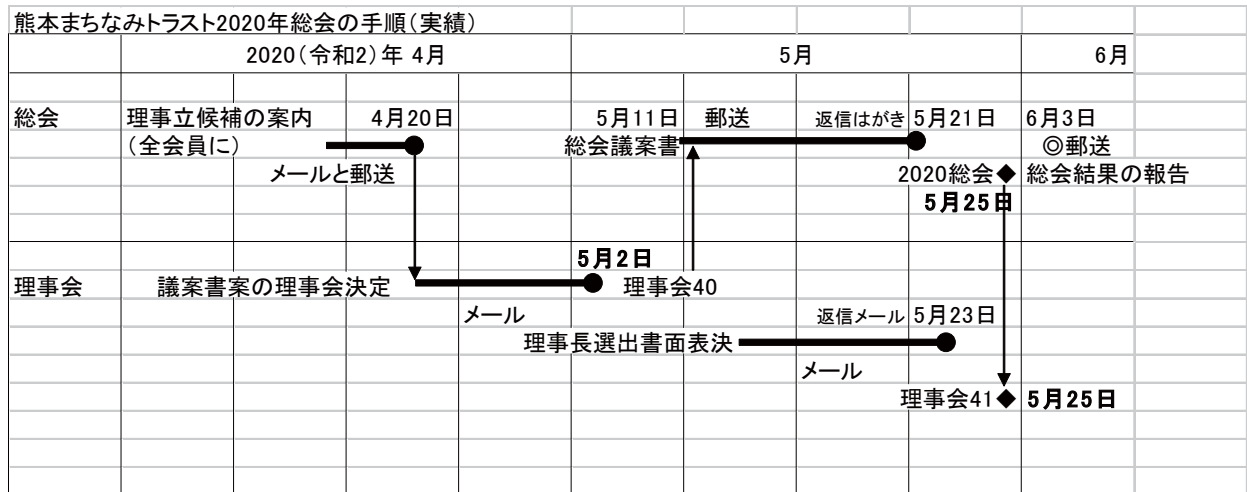
この資料の目次

- |                  |     |
|------------------|-----|
| 1 出欠表および議案書      | P1  |
| 2 総会総括           | P2  |
| 3 前回(第41回)理事会議事録 | P3  |
| 4 財政部会報告         | P6  |
| 5 歴まち部会報告        | P11 |
| 6 遺産ネット部会報告      | P27 |
| 7 R-Group導入について  | P23 |

理事 13 ( + 委任状出席8 = 21 > 理事総数25 × 1/2 )  
 会員 0  
 合計出席者 14 事務局員1名

# 年次総会 2020 の総括

## 1. 直前理事会－議案書郵送－総会－直後理事会－総会結果報告 の手順



## 2. 会員名簿 NPO法人熊本まちなみトラスト会員名簿 2020年5月現在

**正会員（個人・法人）** ※2018年度-2019年度に正会員の会費を納入していただいた方

青木 勝士	麻生田 栄壽(鑑定ソリュート)	荒木 幸介	生田 博隆
磯田 桂史	磯田 節子	出田 節子	伊藤 重剛◎
伊原 登志郎	上農 淑子	大森 創太郎	岡 裕二
鹿瀬島 正剛	亀井 創太郎	工藤 栄一郎	倉橋 由美子
幸田 亮一	古賀 輝	古賀 元也	西郷 正浩
齊藤 修	坂口 秀二	崎元 達郎	柴田 祐
熊本商工会議所	竹田 宏司○	田尻 紀美	田中 尚人
鄭 一止○	辻 泰明	豊永 信博	長崎 圭作
中澤 正満	長野 聖二	西島 真理子	野田 珠実
馬場 英治(横カリーノ)	早川 礼三	林 浩介	原野 利一
平山 武久(ピーエス㈱)	平山 禎久	富士川 一裕□	本田 憲之助
牧野 富一	松波 大仁◇	三國 隆昌	宮野 桂輔
両角 光男	矢島 由美子	矢野 和之	山田 穂
吉村 浩平			

理事、監事、◎理事長、○副理事長、□事務局長、◇広報部長  
 ※53人／( )に法人名記載のある方と商工会議所は法人会員  
 ※退会希望をお持ちの方も今回までは名簿掲載しました

### 賛助会員 及び 寄附者 \*

粟津 安和	池田 由美	井上 芳恵	内田 哲二
大川 陸	金井 秋子	小出 史	斉田 英子
谷脇 美代子	田上 裕	反後 人美	西嶋 公一
西村 正代	早野 俊一	東 久美子	前田 和美
松崎 範子	三代 吉彦	森 純子	八木 啓介
安田 憲世	吉田 季代	米村 孝一	渡邊 稔晃
(社)ロングライフビル推進協会		(25人)	

\* 2019年度賛助会員、遠隔地会員の会費を納入いただいた方、寄附をいただいた方、NPO法人設立以前に「永久会員」であった方をこのリストに掲載しています。

\* 被災文化遺産所有者等連絡協議会にあっては、2017年までさかのぼり会費納入のある方は、この欄に掲載しています。

\* 賛助会員は、総会での表決権はありませんが、総会・イベントの案内、会報の送付等、正会員と同等のサービスを受けられます。

## NPO法人熊本まちなみトラスト 第41回理事会議事録

- 日 時 2020年5月25日 19:00—20:00
- 場 所 県民交流館パレア9階 第9会議室
- 定足数の確認 理事24人中 15人 出席 (ほかに7人の理事は委任状提出)  
7人の理事は定款第36条2「電磁的記録による表決」を行い  
同36条3により出席したものとみなす (都合22人の理事が出席)

### ■議長と議事録署名人

議長を伊藤理事長、議事録署名人を竹田理事と松波理事とすることを議長宣言

### 議決事項1 理事長の選任

★第13条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 理事長は、理事の互選とする。
- 3 副理事長は、理事長が任命する。

①新理事の確認:新任3理事、留任21理事 …… 名簿を見ながら確認  
新理事就任の挨拶 古賀理事・西島理事・三國理事

②理事長の選任

### 議決

理事24人中22人(過半数)の賛成により 伊藤理事を理事長とすることを可決

### 副理事長の任命

伊藤理事長から竹田理事と鄭一止理事を副理事長に任命

### 議決事項2 今年度の活動方針 議案書P8、9参照

総会決議を尊重しながら、以下の意見を付加

- ①コロナ禍にあってはイベントよりもむしろ研究開発や連携強化などに重きを置くべき。
- ②「今年はコレ！」という重点事業を掲げたい。法人会員の増員促進など、今年のメイン活動テーマを決めてみんなでかかりたい。
- ③それに熊本市が動き出す歴史まちづくり計画と連携した活動および文化遺産ネットを加えた3つが重点事業だろう(部会で言うと「財政部会」、「歴まち部会」、「遺産ネット部会」と対応する)。
- ④「遺産ネット部会」だが、単に所有者の会にとどまらず、地域協議会を目指したらどうか
- ⑤「熊本の近代化遺産」のあとづけ作業は「歴まち部会」に入るか
- ⑥「財政部会」だが、コロナ禍の今は経営が厳しい企業にお金の相談はしにくい、という状況であるが、一方で、今がチャンスととらえたい。今だからゆっくり話を聞いてもらえる。お金のことは二の次にしてまずは「一緒にやりましょう！」と声かけをし、お金を出してもらおうための種まきをする。
- ⑦「財政部会」、「歴まち部会」、「遺産ネット部会」のどれに所属するか出席理事の希望を聞く。  
財政部会:(既に決まっている)豊永○・青木・麻生田・伊藤・田中・松波

歴まち部会:伊藤○・鄭一止・竹田・西島・豊永・古賀・(磯田桂史)

遺産ネット:磯田節子(○)・宮野・三国・辻・青木・(山田)・富士川 ( )は未確認

⑧遺産ネット部会主催で甲佐町の NIPPONIA を見学に行く、などの企画もいい(宮野理事つなぐ)

## 議決

各部会長○を中心に行動計画 Action Plan を作成し行動に移す

### 議決事項 3 法人会員への呼びかけ 議案書 P12 参照

- ①これまでの議論と財政部会のこれまでの活動を確認
- ②商工会議所にまず相談すべきなのだが、NPO 熊本まちなみ trusts の立ち位置(議案書 P8、9)が相手(企業)に対して説得力を持つことが肝要。
- ③是非、商工会議所に投げかけたい。商工会議所があのある場所にあることの意味も大きい(一義的には商工業者の皆様にどのように呼びかけるかの相談なのだが)。

## 議決

法人会員への積極的な呼びかけと財政部会の行動促進を議決

以上、議決事項1、議決事項2、議決事項3が可決したことを確認する。

令和2年5月25日

議長 伊藤 重剛 署名 印

議事録署名人 竹田 宏司 署名 印

議事録署名人 松波 大仁 署名 印

### ◆追) いくつかの報告事項

- (1) WMF-Phase2 最終報告書(和文・英文)の提出 5/16
- (2) カリーノ、市への現状報告 5/18(富士川) 事後 5/31 来所(法人会員入会の件)
- (3) PS のライトアップ設備のリニューアル計画(富士川)
- (4) 九大/現 ICOMOS 会長・・・河野俊行氏・・・先日電話会議→6/15 来熊予定(伊藤・富士川)
- (5) 一新校区自治協議会会長が毛利さんから大橋さんへ交代、先日大橋さんから呼ばれて新町と一緒に巡回→マンション問題のいっそうの顕在化(富士川)
- (6) 木村邸 3 月のおかたづけ後の近況(青木)

- (7) 県大3年生フィールドワークの対象／県大 GP どうするか／川尻でオファー(イルジ)
- (8) 熊本市機構改革 文化振興課→文化財課(学芸員居る)と文化政策課(学芸員居ない)へ
- (9) 長六橋の記銘板と門(アーチ部)遺構発見!(三國)・・・取材続行
- (10) 持続給付金 中小企業だけでなくNPO 法人も対象になっているので申請準備中(事務局)  
=事後追加=

◆年度末での完了報告

- (11) HC 財団 2019 年度助成 完了報告 4/25
- (12) お金をまわそう基金 2019 年度助成 完了報告 5/13

◆年度初めの事務局作業

- (13) 熊本市 法人市民税の減免申請(5/24 締切)
- (14) あいぽーとへの年度報告(総会后→6 月末)



出席者 (左奥から)西島真理子、(事務局・菊池)、豊永信博、竹田宏司、松波大仁、富士川一裕(撮影で空席)、伊藤重剛、チョンイルジ、古賀輝、辻泰明、三國隆晶、青木勝士、磯田桂史、山田穰の各理事(磯田節子理事、宮野桂輔理事はこの後登場) 15 人

けんみん交流館パレア 9 階第 9 会議室 入口扉を開放し、長机2脚に3人掛け

## 財政部会報告

2020年6月1日(月) 18:00~19:20 @パレアルーム

出席者: 豊永、伊藤、田中、青木、松波(記録)

### 田中氏からの報告

- 1) 株式会社カーノファシリティーズ様が法人会員になる稟議が今週中には決済される見込み。
- 2) 会費の振り込みは、決済日の締め関係があつて多少遅くなる見込み。
- 3) 関連会社にも声を掛けていく計画。見通しは不透明。

他の参加者からは称賛と感謝の声。今後の新規勧誘に向けて今年度に新規法人会員が加入したという事実は弾みになる。

### 勧誘活動の進め方について

前回の会議でまずターゲットとすることに定めた商工会議所に対する説明方法が討議され、勧進帳では資料が多すぎて説明が冗長になるという懸念が出され、A3 二つ折りで4ページのプレゼン資料を作成することとした。その要素として下記の討議がなされた。

- 1) 歴史まちづくり計画と2050計画の推進の一翼を担うパブリックな存在となりたいこと。
- 2) 熊本の都市戦略として歴史まちづくり計画は重要な役割を担うこと。
- 3) 今後を示す資料であつて、「こういう活動をすれば、こうなる」ことを2段の箇条書きで示すこと。
- 4) 下記の構成とすること。
  - ① 目標: KMTは何を目指すのか?
  - ② 活動: どのような活動を行うのか?
  - ③ 活動計画: 具体的にどう進めるのか? ➡「青木チャート」
  - ④ 得られる未来: 2050に沿った内容。(※2050は都市戦略委員会で説明され、九電の副社長が2050の都市部会の責任者)
- 5) アプローチとしては会長に相談する。
- 6) 特に参加して欲しい企業: 古庄本店、熊本経済、長崎次郎、肥後銀行、熊日、RKK
- 7) 上記の企業に対して商工会議所から紹介状を書いてもらう。
- 8) それ以外にアプローチすべき団体:
  - ① 建築士会: 伊藤理事長が会長に取り組みを依頼。ヘリマネとの関係を礎に、会員市場を開拓。
  - ② JC: 親交団体だが、ボランティア、社会活動への志向がある。→パイプを持ち続け、票田として確保したい → 現執行部に正式に紹介してもらう
  - ③ 法人会: ステータスが高い → 社会貢献事業が主体 票田として確保
  - ④ 経済同友会: 麻生田さんに期待。

**次のステップ:** 事務局会議2回で資料を仕上げる 2050との絡みを富士川さんに相談する。

**次回:** 次回の定例会のお翌週の月曜日に部会を開催。(6月29日)

## 「記憶の継承」

文化遺産は歴史や文化という生活の営みの記憶を伝えるものであり、これを発掘、顕彰、保存、利活用することにより、住民が誇りを持てる、観光の魅力のある、住みやすいまちづくりを目指す。

# 熊本まちなみトラスト

## 活動 Activity



2018年12月18日 寄附金贈呈式

寄り添い 支援する

近年のことから  
ピックアップして  
ご紹介しています



2019年5月18日 シンポジウム

啓発し、共に考える



共感を集める

2019年8月11日 復興イベント



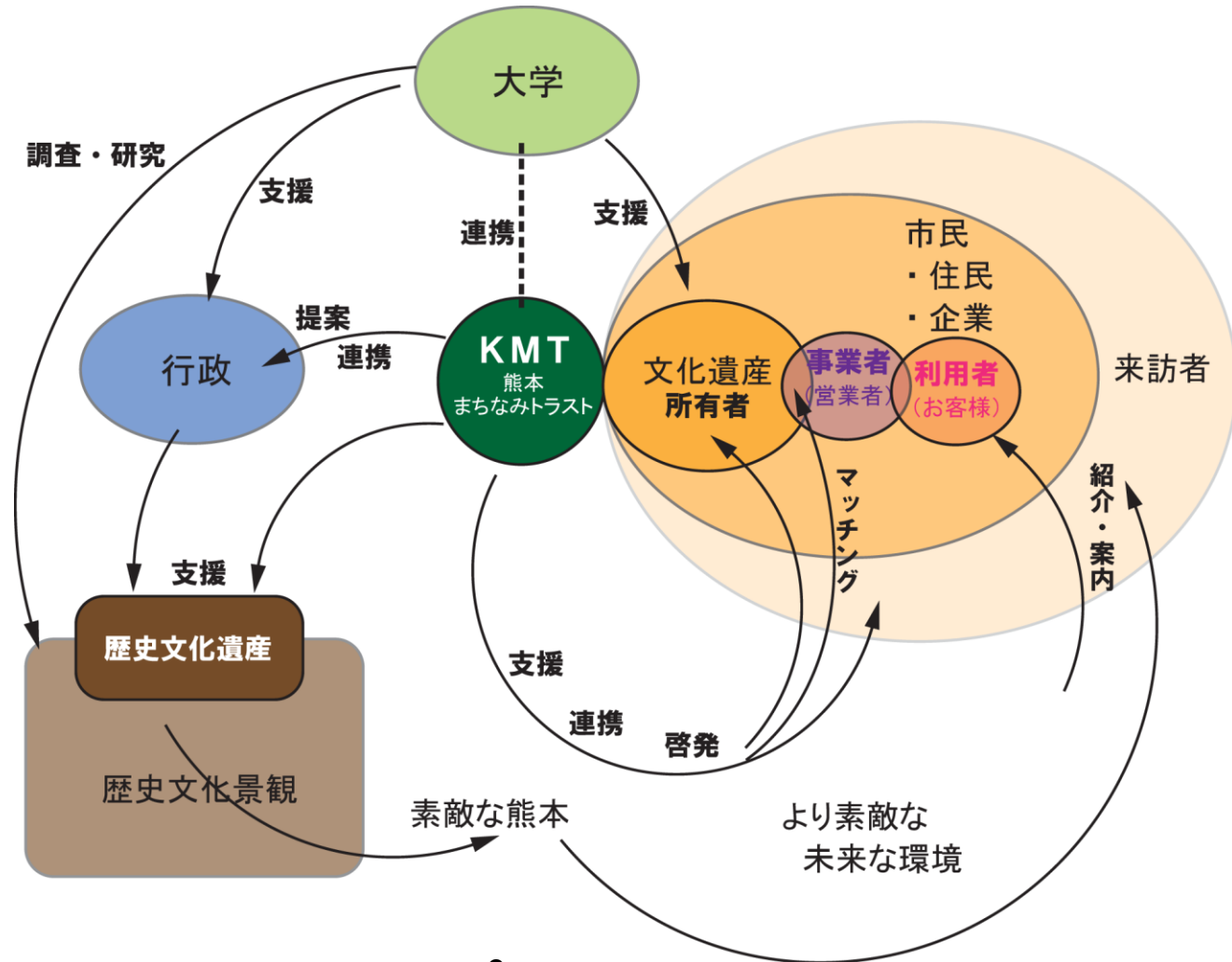
調査・研究し  
発表する

2019年12月17日 出前講座



## 今後 Collaboration の仕組み

## 活動形態



# 結果 Solution

## 目標像

熊本まちなみトラストの活動は、熊本市中心市街地 2050  
「世界に拓く『城下町都市』くまもと」の実現に寄与します

### 歴史公園エリア

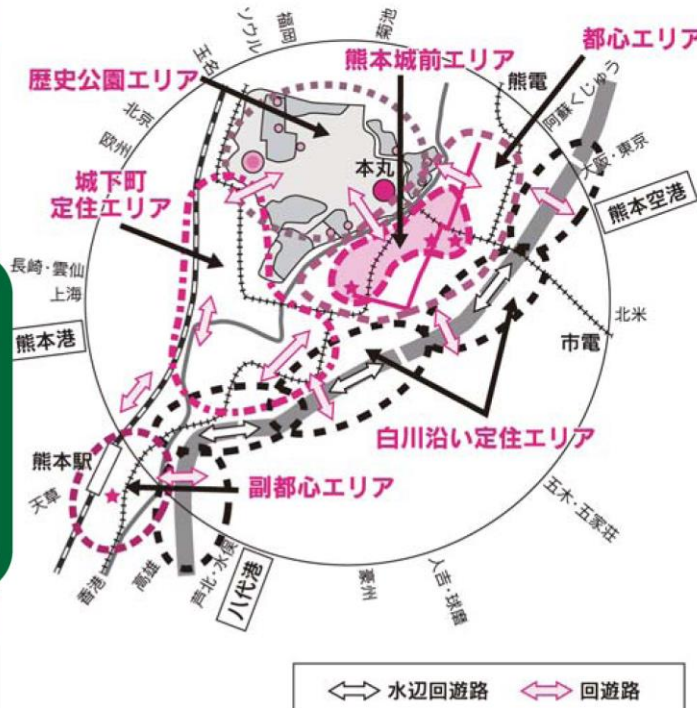
世界に誇る国指定特別史跡熊本城を回遊しながら、その壮大なスケール、400年の歴史や文化、震災復旧の取り組みなどを、体感的に学べる場としての役割を担う

### 城下町定住エリア

旧城下町の街割りに上に培われてきた生活や文化の厚みを楽しみながら暮らせる、まちなかの定住の場としての役割を担う。来訪者が「城下町文化」を体感する場ともなる

### 副都心エリア

熊本駅の存在はもとより今後、西環状道路経由で高速道網に接続するなど、熊本の陸の玄関の役割を担う。また、こうした交通アクセスの便を踏まえ、広域機能が集積した城下町都市の副都心としての役割を担う



### 都心エリア

既存の都市機能集積や広域交通アクセス、隣接する熊本城の存在感などを背景に、滞在型観光や多文化交流の場が集まった、城下町都市の中心としての役割を担う

### 熊本城前エリア

都心エリアの中でも本丸と対面する立地条件から、都市ブランドを牽引する都市機能や公共空間を備えた、城下町都市の新しい「顔」としての役割を担う

### 白川沿い定住エリア

白川の自然や眺めと都市の賑わいを手近に利用できる、まちなかの定住の場としての役割を担う。若者、留学生、共働き世帯などが多様なスタイルで暮らせる場となる

### 城下町都市回遊路

地元生活者の安全安心な移動を支えるのはもとよりである。国内外からの来訪者が城下町都市を回遊しながら、各所に纏わる歴史や物語や眺めを楽しむための手がかりとなる

## 歴まち部会記録

2020年6月8日(月) 18:30~20:20@パレア9階第9会議室

出席者：伊藤重剛、チョン・イルジ、竹田宏司、豊永信博、西島眞理子、古賀輝、松波大仁、富士川一裕(記録) / 熊本市都市整備景観課・都市デザイン室：酒井室長、木下主査、石川主任技師、本田技師 / 都市整備景観課：村上技術主幹

### 1. 開会と当部会の趣意説明

伊藤理事長

資料説明※：富士川事務局長

※「活動実績と未来への目標」・・・コピー部数不足(コピー機不具合のため)

→事後松波メールで送信

### 2. 熊本市の体制と歴史まちづくり計画等の現状報告

酒井室長

- ①年度末は『歴史まちづくり計画』素案のパブコメ→6月中には国の承認予定
- ②年度始めは『適用除外条例』素案のパブコメ→6月市議会議会で成立予定
- ③新町古町川尻の代表者にはお会いして状況説明
- ④歴史遺産は、守ると同時に活用しファンが増えないと残るものも残らない。→利活用も取組んでいく

### 3. 自己紹介と歴まちに関連して一言(熊本市)

木下主査

- ①4月に現職に就任
- ②『適用除外条例』に取組んでいる

石川主任技師

- ①歴まち計画についてパブコメの整理や国とのやり取りを取組んでいる
- ②夜間景観の指針づくりも

本田技師

- ①適用除外条例を担当しています

村上

- ①景観計画及び新町・古町地区、川尻地区の町並みづくりについて担当することとなった。  
町屋の助成などを通じて歴史まちづくりに引き続き関わっていく。

#### 4. 自己紹介と歴まちに関連して一言 (KMT)

富士川理事 (事務局長)

- ①資料 P2 = janpian への提案・・・早川倉庫のような小規模イベントスペースを広める→カーリーノ魚屋町ビル/PS ソーシャルディスタンスな屋内気候/清永本店では和風施設モデル
- ②資料 P3 = 46 年前の熊本の景観
- ③資料 P4 = 8 年前の熊本の景観

竹田理事 (副理事長)

- ①熊本市と玉名市で文化財保護行政に携わってきた。現在は玉名市立歴史博物館勤務  
歴史まちづくりを市とトラストと一緒に進められたら幸いです

松波理事 (広報部長兼国際部長)

- ①熊本地震の直前に平田機工を退職する前は海外の勤務が多かった
- ②日本の都市と欧米、特にアメリカの都市の違いを痛感。アメリカは東海岸から西へ西へと植民地を拡大しながら都市を造っていった。都市では銀行や郵便局を自前で経営し、保安官を自前で雇った。そのような自治が当たり前のアメリカの都市に対して日本はお上があつて上から指示されるのが常態化

古賀輝理事

- ①普段の仕事は財務局で監理処分の仕事をしている
- ②建築基準法上の道路に接していない土地・建物を売却することになったが、建物価値に着目し、建物の現代的な使い方を提案しながら処分したいと思いいろんな方に相談しているうちに熊本まちなみトラストとつながった
- ③国には「建物は邪魔」との発想が DNA レベルで染み付いているが、これはナンセンス。国の発想を変えていきたい。

豊永理事（財政部会長）

- ①熊本市を退職し南栄開発に勤務して 10 年、南栄開発の仕事は……
- ②熊本市在職中最も力を入れたのは都市景観条例の制定
- ③建築士会の活動は全国レベルの活動と地域の活動（新町や川尻）の両面あった
- ④熊本まちなみトラストが、これまでの同好会的なものでなく例えば所有者と行政とをつなぐ中間組織的な役割を持つためには、陣立てを整える必要があると感じている

西島理事

- ①トラストの前身である古町研究会に入ったのがきっかけで文化財修復の仕事を始め、宇土櫓、ジェーンズ邸、八千代座などの修復設計に携わった
- ②熊本市の文化財保護委員会の委員を務めたこともある

チョン・イルジ理事（副理事長）

- ①県立大学で都市計画、まちづくりの教鞭をとっている
- ②新町・古町の町屋の再利用にも関わる
- ③必ずしも歴史遺産にこだわらず、古民家ではない町並みのリニューアルや震災後増えた空き地の使い方に研究領域は拡大している

**5. 熊本まちなみトラストがやれることは何か？**

伊藤理事長

- ①歴まちに関して熊本まちなみトラストがお手伝いすることはどんなことが考えられるか
- ②例えば花畑別館が取り壊される前に実測調査を行ったが、そのようなことはお手伝いできる

木下主査

- ①既存の町屋や空き地などのストックをいかに活用してよりよい都市空間に近づけるのか手探りの状況

石川主任技師

- ①人口が右肩上がりでない状況で市の財政は逼迫し予算をとるのが困難な状況
- ②効率的なまちづくりの推進が求められている
- ③行政がというより地元がやりたいことの具現化のお手伝いをやるべき。問題意識を地元と共有し優先

順位を付け役割分担を行う

- ④行政も NPO（まちなみトラスト）も仲介役なのだと思う

酒井室長

- ①計画をつくってもやれないことが多い
- ②何かやろうという気運はある
- ③地域の方々と話し合いを始めた段階
- ④新町古町川尻に関しては町屋の需給ギャップが問題点・使いたい人は多いが使える町屋が少ない
- ⑤空き地の活用も課題

本田技師

- ①歴史遺産は増えることはないので保存しなければならない
- ②しかし予算はつきにくい
- ③魅力を伝えていけたらいいと思う

松波理事

- ①建築物だけでなく動産文化財についても魅力や保存の対象に取り入れたい
- ②所有者の方の愛着や一般お方の興味も引き付けやすい
- ③トラストの活動では遺産ネット部会の対象だが、これらのことを歴まちの中でも位置づけることが肝要

竹田理事

- ①熊本地震の後、文化財ドクターと文化財レスキューの連携が必ずしもうまくいかなかった
- ②しかし 2 者の連携が必要であるということが具体的な場面で明らかになった

ジョン・イルジ理事

- ①国交省の道路占用許可の緩和（コロナ禍対策）を歴まちに使えないか。
- ②町屋の店先をオープンカフェやマルシェの売台置き場にできれば賑わいと活気が増す

富士川理事

- ①この制度はむしろ新市街飲食街（栄町・銀杏通り）の土地利用転換に活用すると効果があるよう  
思う
- ②コロナで飲食が物販（仕出し）に活路を求めている。飲み屋が仕出しの提供が可能なのははしご  
酒（イベント時にピーナツしか出していなかった店が料理を出していた）で実証済み
- ③サクラマチと下通の間のゾーンを夜だけのまちでなく、昼間ファミリー客も導入することは熊本市全体に  
とって大きな課題

## 6. 今後の進め方

- ①この部会の議事録はデザイン室にお送りして情報共有する
- ②新町古町川尻は意識が高く歴まち計画もよく理解されているように見受けられる。それ以外の地区にも歴史的資源は点在しており、そのような地区からの（資産の有効活用についての相談）ニーズはあると思われる
- ③熊本まちなみトラストは地域（の利害を代弁する）団体ではなく市民団体なので地域を越えた連携がとりやすい。そんなメリットも活かしたい

伊藤理事長

- ④月に一度第4月曜日の18:30からの例会／理事会のご案内はしますのでよければご参加ください
- ⑤不定期で今回のような意見交換会をすることもいいかもしれません
- ⑥是非熊本まちなみトラストの会員にご入会ください

(了)



## 1. 5月理事会での議論＝今年度の活動方針

- ①「財政部会」、「歴まち部会」、「遺産ネット部会」・・・重点事業に対応して
- ②「歴まち部会」は、熊本市『歴史まちづくり計画』と連携した活動
- ③→遺産ネット部会と連携
- ④→カーリーノ魚屋町ビル、PS オランジュリ、清永本店の各タスクフォースとも連携

※歴まち部会所属希望者(理事はどの部会かに属する):

伊藤○・鄭一止・竹田宏司・西島真理子・豊永信博・古賀輝・磯田桂史 (7人)

※歴まち＝歴史まちづくりの略

## 2. 本日歴まち部会の目的

- ①熊本市への状況報告、意思表示と共同作業の提案  
→資料『活動実績と未来への目標』
- ②部会メンバー意見交換→事業方針の肉付け、行動計画へ  
→参考資料  
  - ①with コロナ社会における新しい文化発信の場を提供する
  - ②46年前の熊本市の歴史的建造物(洋館和館の図)
  - ③8年前の熊本市の歴史的建造物(熊本まちなみトラスト展 2012)
  - ④昨年実施したイベント(チラシ)・・・略



6月の遺産ネット部会で、各出席者の発言を筆記したものをそのまま記します。正確でない部分、意味不明の記述も大いにありますが、おおよその主旨をくみとっていただければ幸いです。(三國)

2020年6月11日 県民交流館パレオ9階パレアルームにて

参加者：磯田節子・青木・三國・辻・松波・富士川 (欠席：宮野・山田)

磯田 (遺産ネット部会立ち上げの) いきさつ、目的は？

富士川 一つは被連協の発展的団体として、横の連絡が要るのではないか。

松浪 被連協は被災者だけ・・・

富士川 解散する予定、総会を開いて。役割終わった。

松波 所期の目的は果たした。動産所有者が対象になっていない。建物だけでなく広い意味の遺産。持ち主がプライド、自信持って自分たちの受け継いだものをより発展的に。もっと輪を広げられるのでは。

富士川 もう一つは、空間的な広がり。新町・古町・川尻以外にも、県内の範囲でとらえてはどうかという話。甲佐など見学に行つて情報交換するのにも、遺産ネットが機能したらどうかという話。

松波 受け継いだ責任、重みより、誇りを持って引き継いでいく雰囲気醸成。運動体があることが支えになる。孤立しやすいので。

磯田 被連協の人たちと地道に会合してきた。被連協を含めた会合を持つ必要あるのでは。

富士川 反後さんは「役割終わったのでは」と。アンケートではそういう・・・強く出ていた。

松浪 半々に分かれた、アンケートは。二極に。要らないと言った人は2人のみ。

富士川 発展的に、この組織を続けようという声が強かった。

松波 「被災」を取るのと、地域限定を外すこと。

富士川 新町・古町は25人。かなり厳しい。森本さんところはお父さん亡くなっている。建物も。鈴木さんも無くなった。後藤さんに至っては火事で。入っていないが川尻9人。瑞鷹のウエートが高い。

青木 なぜ僕が加わったか。被災の活動やって、どうしてもトラストは建物、ハードの部分に力を入れている団体。建物も大事、人も、中で使っている物も大事。オールインワン。中でも人が一番大事。人を大事にすることで建物も物も残る。この先高齢化が進み、建物、中の物を捨てることも起こり得る。現に清永さん、清永宇蔵さん、梶尾さんも中の物が散逸する可能性がある。悩み、どうすればいいか分からないと思われる方の支えになりたい。だから参加しようと思った。困っている人を助けたい。34人だけじゃない。13人には清

永宇蔵さん。この前清永本店のたんすとふすま入れ、私が受け入れた。木村家で再生する。宇蔵さんの所、たんす2さお、捨てる？と聞いたら「価値があるならとっておく」。横手4丁目、元々清永本家の別荘。分家の宇蔵さんに渡された。震災で被災、土蔵を壊した。そういう動きをたくさんしたい。なるべく捨てられる資料を救いたい。建物は苦手だから、バランスの良い残し方を。

富士川 森本表具店のような例。多代さんは隣に普通の建物を建てて表具店を続けようとしている。新しい形かなと思う。

青木 西村さんの家、中の物は殆ど壊れなかった。西村さんは価値が分からなかった。これは高田焼、これは・・・と一個一個説明したら分かった。被災前のこと。被災しても壊れなかった。捨てずに済んだ。家のヒストリー守られる。文化を残すことになる。

松波 宮野さんがやった、鈴木邸の建具を *ricca* に活かした。あれも新しい。確実に受け継がれている。多様な利活用の仕方。まず評価した上で利活用するノウハウを蓄積していけば役に立つ。

青木 捨てるなら、所有者がその価値を分かった上で捨ててほしい。騙されたりというのはあってはならない。自分で決める以上、正当に評価し判断して残して欲しい。自分で決裁するため一緒に考えたい。そんなチャンス。被災資料ネットワーク、あそこを引っ張ってくるのは難しい。向こうは市民に遠い。大学だから。大学に集めるんじゃなく、所有者に持って欲しい。研究のためじゃなく。建物と同時に物の相談も出てくる。中に膨大な物が入っている。建物壊せば出てくる。捨てないといけない。人を助けるのがまず一番。「建物残しましょう」ではなく「何かお困りでしょう」。一緒に考える。「残しましょう」と、所有者追い詰められて、壊してしまう。自分としても苦しかった。

磯田 聞いた事ある。あまりにも物が多くてパニックになり全部捨ててしまった。

青木 うちが市民に近い。行政ができないことも相談受ける。

松波 歴まち・・・市は新町・古町、川尻には説明したという。それは簡単。自治協議会にすればいい。祭りの道具の保管場所をつくっておしまいになりかねない。遺産ネットは道具とか脚光あてて、歴まちの舞台に引っ張り出すことができる。くらしの記憶・・・としての文化というか。

#### 【部会長選任について】

富士川 タスクフォースが・・・パッと対応できる。

青木 人に寄り添いたい。

松波 歴まちは部会長いるが、財政部会も、ここは？

富士川 被連協には私が責任ある。

磯田 ほかに組織ないの？

富士川 商店街はない。何かあってもいい。解散の仕方を考えたい。

松波 被災を取って、文化財所有者〇〇〇としては？ 互いの横の連結。建物で、国宝、国重文、登録文化財。動産には登録文化財はないのか？

磯田 登録文化財は 50 年以上たっていればみんななれる。しかし、2000 年ぐらいから変わり、大学の先生の所見が要る。未指定が登録になる。修復に当たってある程度の価値付が要るから・・・

富士川 紫藤邸、上通。周りにマンション建ち困っている。戦後、米軍が使った由緒ある建物。オーナーは玉名の勤務医。貨幣換算するとバラバラになってしまう。使ってこそ価値ある。登録文化財的な考え方が必要。人に寄り添ってやろうとすると、裏切られることもある。捨てる・・・再利用することもいいんじゃないか。

#### 【まとめ】

松波 被連協を終わらせる。その時に次の段階を示す。

青木 ただ解散するんじゃないと説いて回る。

次回は 7 月 7 日。

熊本まちなみトラストはー

「記憶の継承」を基本コンセプトに、近代化遺産の保存と活用に 20 年間取り組んできたところで、平成 28 年熊本地震に遭遇、それまでにかかわってきた文化遺産の多くが被災した。そこで NPO 法人化するとともに海外からの支援を導入し被災文化遺産所有者との連携による震災復旧に取り組んできた。

現在、震災から 4 年が経ち、歴史的建造物の復旧工事が一段落し、

復興まちづくり

への新たな一歩を踏み出そうとしている。

当面の目標はー

復旧した歴史的建造物の利活用

早川倉庫  
清永本店

## うみだし／ひろめる

### 熊本まちトラストは ウィズコロナの 新しいイベントスペースを うみだし／ひろめます



旧住友銀行支店社屋

3密を避けた適度な広さの  
復旧工事を終えた歴史的建造物



PS オランジュリ

地域社会はー

新型コロナウイルスの感染拡大で学校、公共施設等が休校、閉鎖され日常生活の活動が質量ともに縮小された。

6 月に入り、小学校は休校が解け、飲食店も深夜を除き営業が再開された。美術館・博物館や映画館も再開された。

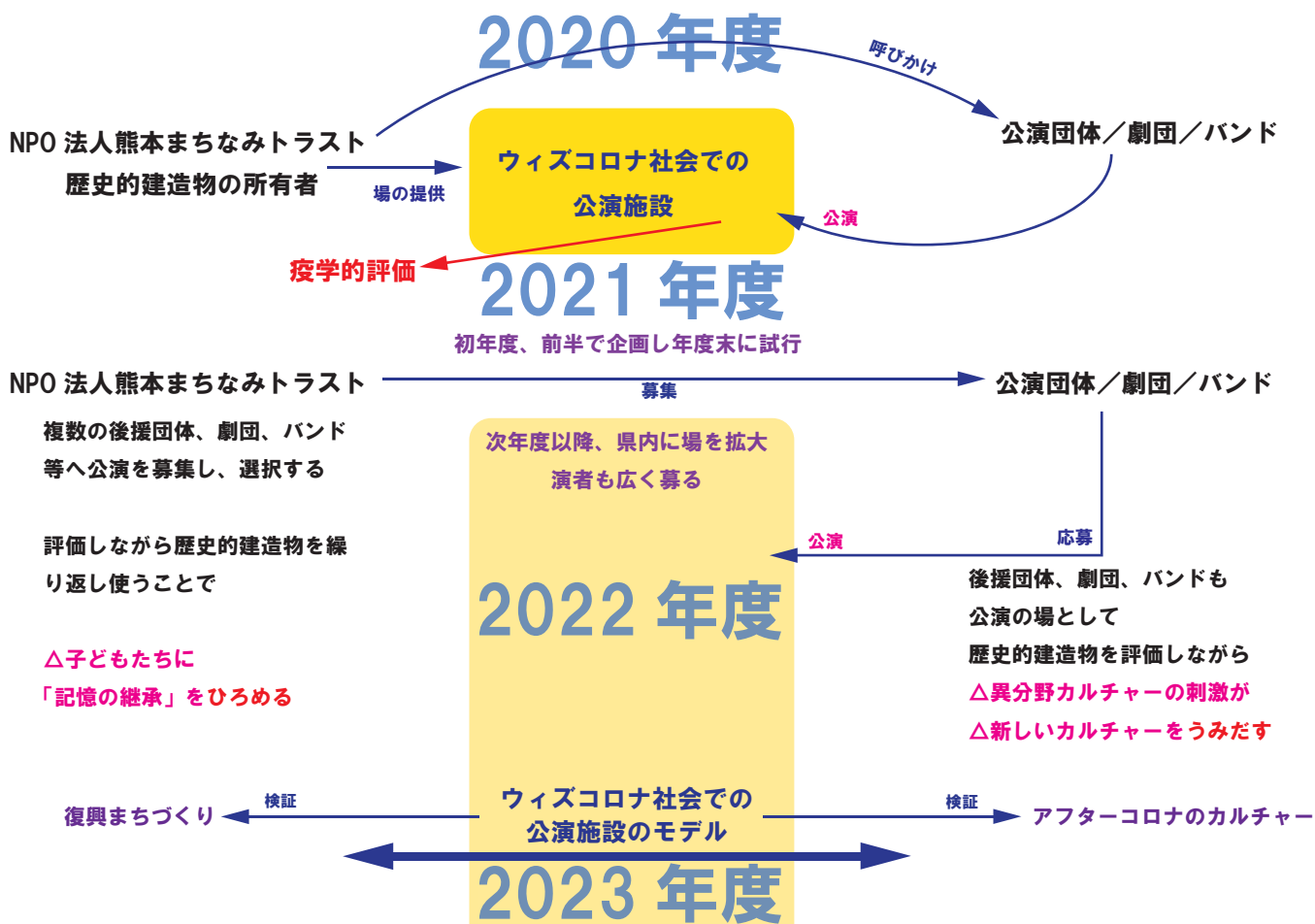
しかし、3密を避けた運営形態を探っている状態。

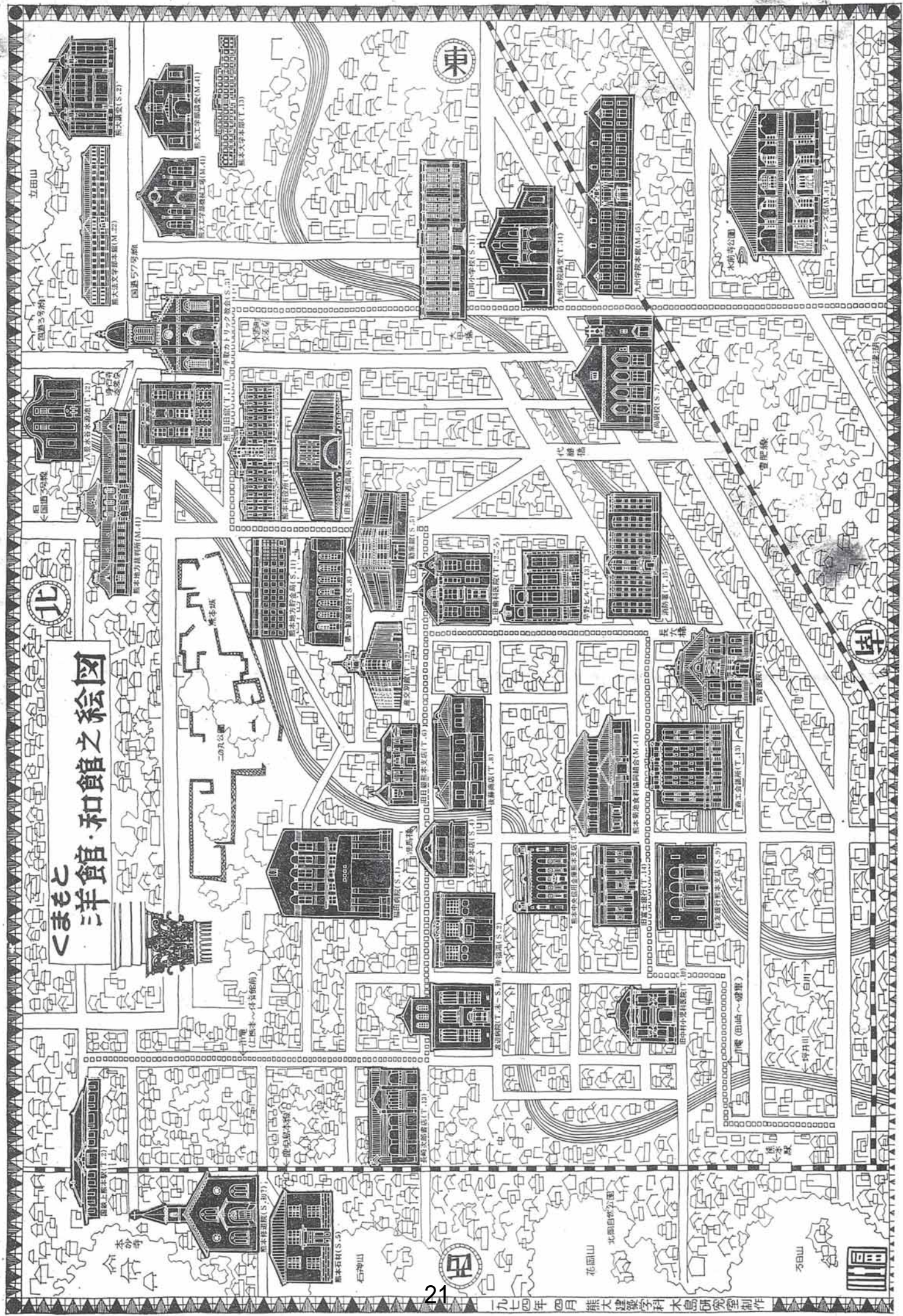
子どもたちはー  
音楽や演劇に接したい

公演団体や劇団はー  
3密を避けた公演の場を求めている



子どもたちB



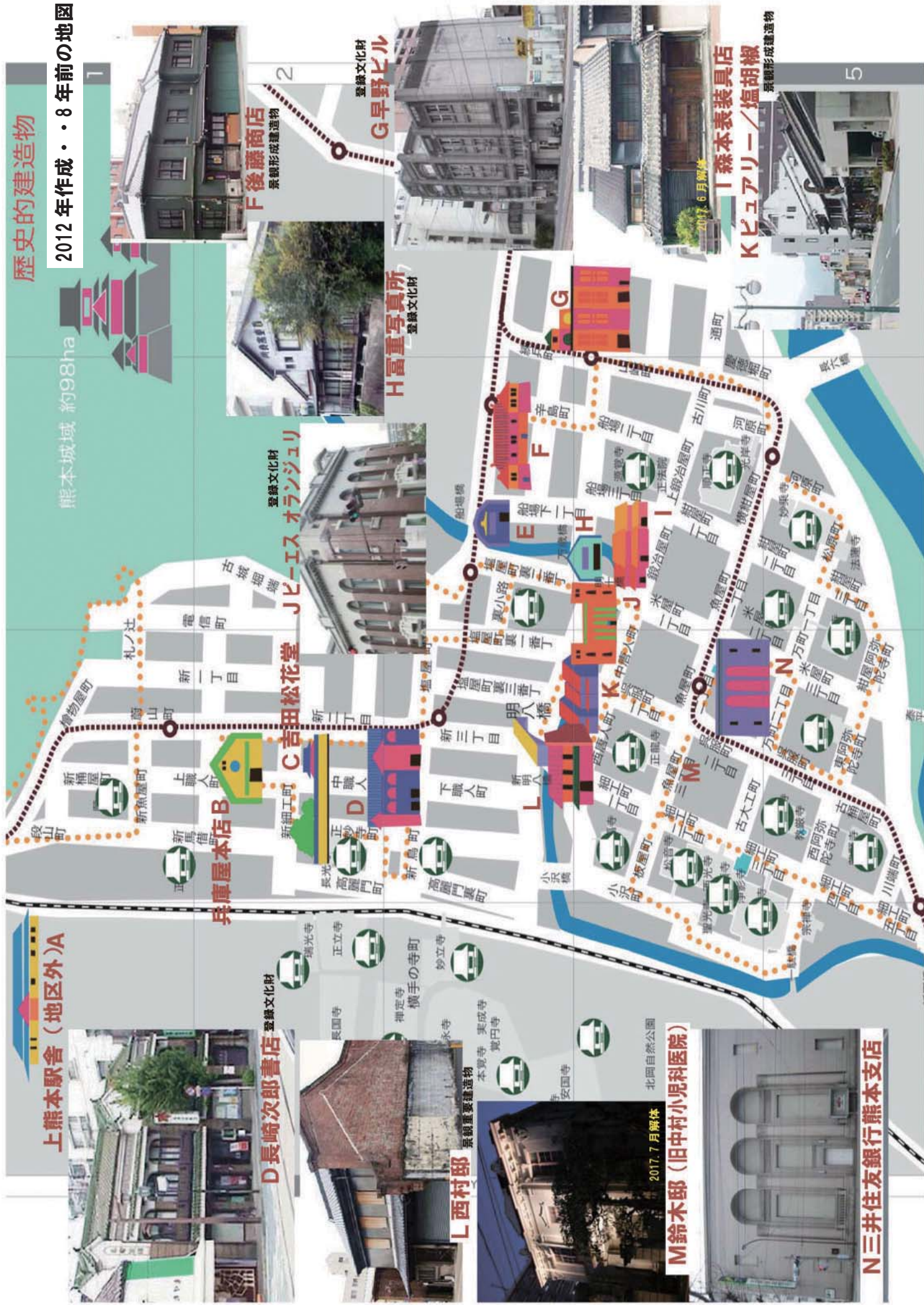


くまもと  
洋館・和館之絵図

# 歴史的建造物

2012年作成・・・8年前の地図

熊本城域 約98ha



**A 上熊本駅舎 (地区外)**



**D 長崎次郎書店** 登録文化財



**L 西村邸** 景観重要建造物



**M 鈴木邸 (旧中村小児科医院)**



**N 三井住友銀行熊本支店**

**B 兵庫屋本店**



**J ピース オランジュリ** 登録文化財



**C 吉田松花堂**



**H 富重写真所** 登録文化財



**G 早野ビル** 登録文化財



**I 森本表装具店**

**K ピュアリー / 塩胡椒** 景観形成建造物



## 熊本まちなみトラスト内での情報交換ツールの導入

イルジさんから「トラストのメンバーと意見交換ができるツールが欲しい」という要望が出され、色々な方法を検討しましたが、フェイスブックなどの SNS では個人の考え方で利用したくないというような問題もあり、R-Group というクラウドアプリ（ソフトがサーバー上にありインストールしなくても使える）を採用することにしました。選定に際して考慮した点を紹介します。

### 【 選定条件 】

1. 完全に無料である
2. データ容量に制限がない（無制限）
3. メンバー数に制限がない
4. PC、スマホ、タブレットのいずれからでも使える
5. システム提供者の素性は一応信頼置ける（情報漏えい等の恐れは無い）

このソフトにも固有の癖があり、使いにくいと感じられることもあるかと思いますが、何より情報が自由に共有できることを最優先しました。

また、情報が多すぎて煩わしくなることを避けるために、理事の皆さんを「部会」でグループ分けしています。複数の部会に参加することも可能です。登録をご案内する時点では、理事全員の登録が終わり、分かる範囲でグループの設定もしてあります。

このサービスが提供する機能は色々ありますが、今回の目的に必要なのは下記の機能です。

- ① タイムライン  
誰かがソフトを使うと、その行動を「お知らせ」として新しい順に表示します。その行動が特定の部会のメンバーだけに関係する場合、メンバーにしかお知らせは表示されません。「お知らせ」だけを全員や特定のメンバーに送信することもできます。
- ② スケジュール  
よくあるスケジュール管理表です。週間や月間の表示で特定の日付をクリックすると新しい行事が登録できます。これも関係するメンバーを選ぶことができ、対象メンバー以外のカレンダーには表示されません。カレンダーの右側には「タスク」メニューがあり、期限までに済ませなければならない作業を登録することができます。
- ③ 掲示板（スレッド）  
部会やイベント、さらにそれ以下の細かい作業ごとに「スレッド」と呼ばれる掲示板を設定できます。ご案内する段階では例会／理事会、各部会と事務局の掲示板が設定してあります。必要なスレッドをクリックし、新たな情報を書き込みます。  
【\*】残念ながらスレッドには画像ファイルしか貼れません。ファイルの共有は下の④の機能しかありません。
- ④ ファイル共有  
ファイルを共有したい相手を限定して登録（アップロード）できます。登録すると指定されたグループのメンバーに通知が行きます。  
【\*】残念ながらファイルをフォルダーで整理したりはできないようなので、あまり長期に保存しておくようなアーカイブ的な使い方は期待できません。タスクに一区切りがついた段階で事務局が吸い上げて保存する、という形を採ります。

メーカー側が提供している機能説明は下記の URL からご覧ください。

<https://jp.r-group.com/list/>

### 【 今後の進め方 】

皆さんをシステムに登録し、覚えやすくバレにくいユーザーID とパスワードを当方で設定し、ログインして頂くよう、ご案内をします。案内は2通に分け、1通はシステムが自動で発送し、ID とシステムへの URL をご連絡します。もう1通は事務局からパスワードをご連絡します。

何かご質問があれば、ご返信をお待ちしております。

KMT 事務局：広報担当、松波